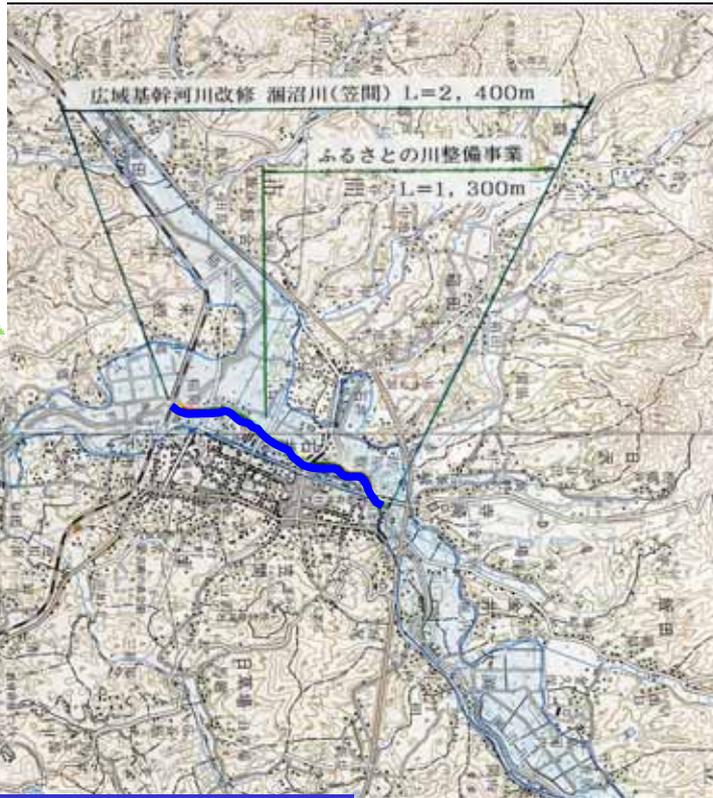
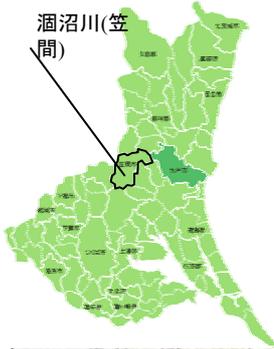


まちづくりと一体となった河川改修



濁沼川は、笠間市街地を貫流する河川であり、古くは笠間城下町の防備、生活・農業用水として利用されてきた河川である。本河川は笠間の顔となる河川であり、今後のまちづくりの鍵となることから、治水機能面のみならず、周辺の景観や地域整備に調和した良好な水辺空間を整備していく。

目標

治水対策とまちづくりとの一体化



水辺の自然公園ゾーン



水辺のカルチャーコミュニティゾーン



にぎわいの橋空間ゾーン



集い・交流の水辺ゾーン

事業効果

氾濫防止面積：177ha

浸水回避家屋：592戸

浸水回避田畑：61ha